

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	大阪府 守口市	会計名	下水道会計
承認年度	平成19年度		

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
地方債現在高						
実質公債費比率						
職員数	88.0	75.0	13.0	89.0	14.0	a
改善額	2050.0	2560.0	510.0	279.0	2,281.0	a
公営企業債現在高	20030.0	18433.0	1,597.0	23233.0	4,800.0	a
累積欠損金比率						
総合判定						a

3. その他

() 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年6月 公表 (HP・広報紙・その他 [])
 執行状況:平成 年 月 公表 (HP・広報紙・その他 [公表の予定はありません。])

() 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成20年2月 説明
 執行状況:平成22年2月 説明

() 平成22年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ()
 - 工業用水道事業
 - 都市高速鉄道事業
 - 下水道事業 (公共下水道事業)
 - 病院事業
 - 介護サービス事業
- 提出予定なし

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

*平成19年度の計画策定時における職員数を計画に計上したところ、年度途中にの人事異動によって1名の増員があったため、計画目標値に達しませんでした。

()改善に向けた取組及び今後の見通し

*平成20年度(平成20年8月現在)において、既に職員数は計画目標値以上の水準(87名)に改善されております。また、平成22年度以降も(平成22年8月現在)も本計画以上の水準で改善していく計画です。

()改善方針の進捗状況

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

別紙様式1 - 5の ()において、職員数の計画比増に伴い、目標に達しませんでした。

()改善に向けた取組及び今後の見通し

別紙様式1 - 5の ()のとおり、現在既に目標以上の水準に達しており、今後も本計画以上の水準で改善していく計画です。

()改善方針の進捗状況

団体名	大阪府 守口市
会計名	下水道会計

公営企業債現在高

類型	a
----	---

()推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	22,170	21,101	20,496	20,349	20,030	23,233
実績(見込)値(B)	22,078	21,513	20,139	19,428	18,433	
乖離値(C) (A - B)	92	412	357	921	1,597	4,800
乖離率(D) (C / A)	0.4%	-2.0%	1.7%	4.5%	8.0%	20.7%

()要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

()実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

*平成20年度未達の理由:理由としては、下水道事業債が当初見込の390から446へと56増加したことがある。また、当初予定していなかった資本費平準化債を665発行したことによる。
合計として、起債発行額がH20計画時より721増加した。
結果として、H20見込値としての20,792に対してH20実績として721の発行増加があったため、実績値は21,513となった。
そのため、計画目標値21,101と実績値21,513で412の乖離が発生し、計画未達成となった。

()改善に向けた取組及び今後の見通し

改善は順調に進んでおり、今後も計画を達成できる見通しである。

()改善方針の進捗状況